

# 観 光

本村の観光資源は、雄大な赤城高原の広大な農地と自然環境、それらを望む景観、そして、大自然がもたらした産物のりんご・いちご・さくらんぼ・ブルーベリー狩りなどの観光農園や、消費者に新鮮な野菜を届ける農産物直所「旬菜館」、スポーツと滞在型施設「昭和の森」（ゴルフ場・山荘）のほか、赤城高原の別荘地、横浜市少年自然の家「赤城林間学園」、日帰り温泉施設「昭和の湯」などがあり、総合運動公園や千年の森スポーツセンター（サッカー場）では、スポーツを通じて多くの人々が交流し健康増進を図っています。

また、平成23年7月にオープンした、「道の駅 あぐりーむ昭和」は、農産物直売所「旬菜館」をはじめ、昭和村の食材を使用したレストランや物産館、足湯、無料休憩所、観光案内所、トイレなどを完備した施設となっており、連日、多くのお客様で賑わっています。

昭和村を訪れた平成25年度の観光客数は、道の駅あぐりーむ昭和に371,000人、昭和の森ゴルフ場・山荘に13,000人、横浜市少年自然の家「赤城林間学園」には40,000人、昭和の湯に98,000人、千年の森に19,000人の来場があり、合計では541,000人の人々が訪れています。

また、平成14年度からは、誰にでも使いやすい安全で快適な観光トイレを、望郷ラインや村道永井中野線沿いに3か所を整備し、併せて観光案内看板も設置しました。

村の祭り・イベントとして、春の「昭和の日記念イベント」、10月には、「昭和の秋まつり」、2月には「ウインターフェスティバル」などが行われ、年々、来場者が増えています。そして今後は、景気の長期低迷による低価格志向などの傾向の中、活発で人数の多い団塊世代が退職期を迎え、団塊ジュニア世代が子育て期を迎えており、体験・学習・交流・滞在・リピート型観光の充実などが求められています。